

渋川 × 農業

2018. 秋

「農業やりたいな」

と思っている、そのあなたに

渋川市 の農業

ちょっとだけ紹介しておきます

▶▶▶▶ INDEX

渋川のかんがい施設で思いっきり農業をやろう！

これからの渋川の農業は女子がリードする！

渋川地区農業青年クラブで同僚ならぬ農僚を作れ！

渋川は農業だけじゃない！ feat.伊香保温泉

GO!! ▶▶▶▶

大自然との共生！自分の未来は自分で創る！

都丸 大介(とまる だいすけ)さん

主な営農品目:ホウレンソウ(施設・露地)
/営農地区:赤城・北橋地区/渋川市認定新規就農者



農業法人での雇用を経て独立。認定新規就農者になり、農業制度資金や農地中間管理事業で基盤を整え、独立後1年足らずで4haのホウレンソウを経営。現在、赤城・北橋地区を中心にかんがい施設を活用した大規模なハウス栽培に取り組んでいる。「今作は順調ですが、実は前作は失敗してしまいました。まだまだ勉強が必要ですね」とあくまで初心を忘れない。「自分次第でどんな



未来を楽しめるのが農業です！」と意気込む。今後の渋川の農業を支える若手のホープに期待が高い。

◀「赤城の土はふかふかで、根がまっすぐ伸びるんです」と教えてくれた。

渋川のかんがい施設で 思いっきり農業をやろう！

数ある農業の魅力の中でも、豊かな大自然に広がる畑で思いっきり農業をやることは、大きな醍醐味のひとつですね！
けど、そんな大自然の中、農業をやる上で最も大切な水は一体どこから来るのでしょうか？毎日家から汲んでくる？いくらなんでもそんな大変すぎますね。
そこで活躍するのがかんがい施設です。渋川市のかんがい施設は県内でも高い整備率を誇り、水源に恵まれない場所であっても容易に水の確保ができるよう、現在進行形で整備が進められています。
周辺にはスーパーマーケットや農産物直売所も多く、毎日たくさんの農産物が取り引きされています。

パワー<センスの農業 で農産物の魅力をPR！

斉藤 美保(さいとう みほ)さん

主な営農品目:イチゴ、ブルーベリー、農産物加工/営農地区:子持地区/渋川市認定農業者/群馬県農村生活アドバイザー



夫の両親の経営を引継ぎ、イチゴやブルーベリーなどを栽培。美味しく健康な果実をモットーに自家加工にも取り組む。体力的負担の大きい面積規模の拡大ではなく、6次産業化による小規模付加価値型の経営戦略は女性ならではの。地域の女性農業者グループ『あぐりいいな』の仲間とマルシェを開催して農産物のPRもしている。農業に対して、「つい夢中になってしまう、そんな魅力のある仕事です」と笑顔。その抜群のセンスとアイデアを活かし、ぜひ渋川の魅力ある仕事の一つとして農業をPRして頂きたい。

天然の彩りが鮮やかな加工品。売れ筋No.1はイチゴのジャム。



これからの渋川の農業は 女子がリードする！

女性の職域の拡大や女性管理職の増加など、少しずつ進展を見せている日本の雇用環境ですが、依然として男女間の賃金格差は解消されていないのが現状です。
さて、農業部門はといいますと、農林水産省の調べによると、なんと女性が参画している農業経営体ほど販売金額が大きいのだそう！経営の多角化など、従来の農業経営にとらわれないコンテンポラリーな取り組みが起きているようです。
渋川市では、農業女子の鋭い視点を活かしたコラボレーションや商品開発を目指し、多くの女性たちが日々研究を重ねています。

渋川市ってどんなところ？

その1「場所」

群馬県庁のある前橋市のすぐ北側に位置しています。群馬県のまんなかです。関東平野の広がりで見ると、北西部のすみっこにあります。

その2「気候」

標高差がある地形のため、地域によって気候にも差があります。低地は、夏は暑くなりますが、冬の積雪はそれほどではありません。一方高地は、夏は比

較的涼しくなりますが、冬は積もった雪がなかなか溶けない地域もあります。低地と高地では、適する農作物にも差があります。

その3「交通」

都心まで車で2時間、新幹線で1時間の距離にあり、市内には2つの

高速道路 I C と、 J R の 2 路線 8 駅があります。



その4「観光」

有名な伊香保温泉をはじめ、渋川市にはたくさんの日帰り温泉もあります。また、「アルテナード(芸術の散歩道)」に沿って、美術館や博物館などの文化施設や、市営の遊園地やアイスクリームのおいしい伊香保グリーン牧場

などの楽しいプレイスポットも！道の駅や農産物直売所も、毎日たくさんのお客でにぎわっています。



渋川地区農業青年クラブで 同僚ならぬ農僚を作れ！

イヤな上司もいなければ、満員電車も交通渋滞もない——ストレスフリーは農業の良い点ではありますが、毎日一人で黙々と農作業をするのも、なんだかちよびりつまらないかも…。

そんなあなたは、ぜひ渋川地区農業青年クラブに入りましょう！このクラブ、実は数々の受賞歴を持つとても優秀で活発なクラブなんです！毎年活動テーマが異なり、過去には『税の勉強会』なんて超絶真面目なものから、なんと『合コン♥』まで！まだまだやりたいことは尽きません！
農業の喜びや悩みを互いに共有できる、最高の“農僚”を作りませんか？



誰もが居心地の良いクラブを目指して——

渋川地区農業青年クラブ
会長 秋原 聡(はぎわら さとし)さん

主な営農品目:キノコ/営農地区:北橋地区/渋川地区農業青年クラブ会長

「自分は会社員を経て就農したのですが、就農直後は全然仲間もいなくて…そんな時に歓迎してくれたのが農業青年クラブでした」と話す秋原会長。今では総勢20名のクラブ員をまとめ上げる。クラブ員はベテランからルーキーまで様々。「新入クラブ員でも居心地の良い環境を作れるよう、常に心掛けています。ベテラン勢は放っておいても言いたいこと言いますから(笑)」と、新規加入者のサポートも万全だ。互いに学び、助け合い、思いっきり楽しむ！農業にメリハリを求めるルーキー諸君は、ぜひとも加入をお勧めしたい。



地域の子どもたちに農業の素晴らしさを教えるのも活動の一環！

渋川は農業だけじゃない！ feat. 伊香保温泉

「伊香保温泉 日本の名湯」で知られる渋川市の伊香保温泉では、農家と協力し、地元の新鮮な食材を活用した地産地消に積極的に取り組んでいます。旅館の女将さん・板前さんと農家が、実際に地元の食材を活用した提案料理を出し合い、試食や意見交換を行うことも。通常の小売店とはひと味違った、旅館ならではの新たな要望が寄せられることもあります。渋川市では、そんな多種多様な要望にもフレキシブルに応えられる、パワーと機動力に満ちた農業者が求められています。
観光業をフィーチャーして、取り引き拡大のチャンスをつかめ！



採れたての地元産食材 でお客をおもてなし

渋川広域農業活性化推進協議会
観光農業推進分科会
会長 飯野 晶子(いいの まさこ)さん

伊香保温泉『いかほ秀水園』女将

平成18年の合併時から渋川広域農業活性化推進協議会の中心となり、観光サイドから渋川の地産地消を支えてきた。現在も地元の食材を伊香保温泉としてPRするために、日々東奔西走している。「地元産の食材は新鮮なだけでなく、安全・安心においても評価が高いんです」と信頼を置く女将さん。自らの足で農産物直売所や観光農園を訪れ、お客様に紹介することもあるそう。日本有数の温泉地のバックアップにより、全国の観光客に自分の農産物を知ってもらえる貴重なチャンス、決して逃すまじ！



女将さんたちが自らの目で見て、良いものは積極的にお客様に紹介。

農政関係機関の **プロ** が伝授する！

「**渋川**で農業始めるなら**コレ**だ！！」

① 渋川地区農業指導センター担い手支援係 後藤瑞依主幹

露地野菜と施設野菜なら、やはり初期投資が少ない露地野菜をお勧めします。特に露地ナスは、果菜類の中でも比較的栽培がしやすいので、ある程度覚えられればコンスタントな収穫が期待できる品目です。また、自分以外にも労働力が見込めるなら、ハウレンソウなどの葉物にも取り組めるかもしれませんね。露地ナスを、ネギやブロッコリーと組み合わせて取り組んでいる新規就農者もいます。あとは、その人に合う作物・合わない作物もあつたりします。どんな作物に取り組んだらいいか迷った時は、普及指導員がご相談に乗りますので、一人で悩まずぜひ一度指導センターへお越しください。



相談するなら**ココ!!**

渋川地区
農業指導センター
渋川市金井395
☎0279-23-1321

② 北群渋川農業協同組合農業振興課 兒玉高治課長

ナス、オクラ、ネギ、契約用キャベツあたりはいかがでしょうか。農業を始めたばかりの人でも、比較的容易に栽培できると思いますし、露地であれば初期投資も少なく済みますから。もし大きな投資が可能であれば、周年で取り組める施設チンゲンサイもお勧めできますよ。逆に米麦は、機械設備を整えるのが大変なので、新規就農者にはあまりお勧めできません。JA北群渋川は野菜の部会もありますし、指導してくれる生産者もいます。また、『農の支援講座』という新規就農者向けの講座を毎年開催していて、実際に圃場での実習も組み込まれていますので、興味がある人はぜひ参加してみてください。



相談するなら**ココ!!**

北群渋川農業協同組合
野菜センター
北群馬郡吉岡町大久保2296
☎0279-20-5831

③ 赤城橋農業協同組合農産園芸課 森田尚秀係長

JA赤城たちばなでは様々な野菜を推進していますが、中でも新規就農者向けの野菜はナスだと思えます。ナスは集中して稼げるので、新規就農者でも計画を立てやすいんです。あと、最近ではいろいろな食べ方があるので、消費も上がっている傾向にありますね。ナスはJA赤城たちばなでも推進している野菜なので、ベテランの生産者から学べるチャンスもありますよ。他にも自分で「これが作りたい！」という作物があれば、お力になりますのでぜひ相談してください。少しでも農業に興味がある人は、毎年『就農支援講座』という新規就農者向けの講座を開催しているので、まずはそちらにご参加いただくのもお勧めです。



相談するなら**ココ!!**

赤城橋農業協同組合
営農生活センター
渋川市北橋町真壁1386-1
☎0279-52-2116

④ 渋川市農政部農林課 岩田直記指導員

病害虫の心配が少なく、栽培がそれほど難しくないのは、ネギ、ジャガイモ、タマネギ、ニンジン、サトイモ、サツマイモ、オクラなどですね。特にネギは、鍋に入れたり薬味に使ったり料理に欠かせない食材ですから、一年中需要があるのでお勧めです。なお、サトイモ、サツマイモは、新規就農者にも作りやすいですが、他の作物と併せて取り組んだ方が経営が安定すると思います。渋川市では安全・安心を重視した栽培を推進しており、一般の消費者だけでなく、学校給食にも提供されている食材がたくさんあります。新たな担い手として渋川市の地産地消を支えてくださる、やる気とパワーに満ちた新規就農者の参入をお待ちしています。



相談するなら**ココ!!**

渋川市役所第二庁舎
農政部農林課
渋川市石原6-1
☎0279-22-2593

新規就農者相談窓口でも相談できます！

渋川市農政部農林課では、新たに農業を始めたい人などを対象に、関係機関が連携して就農を支援するための総合窓口として、『新規就農者相談窓口』を開設しています。相談者が希望する就農形態や取り組みたい作目などの相談を受け付け、それぞれの課題に対して専門的な機関と情報を共有し、連携して支援を行っています。

新規就農者相談窓口(渋川市農政部農林課内) : ☎0279-22-2593

